

生涯学習
レター

全国生涯学習市町村協議会
ホームページアドレス <http://www.gakushu.jp>
事務局
〒327-0595
栃木県佐野市葛生東1-11-10
佐野市教育委員会生涯学習部生涯学習課
TEL 0283-86-3495
FAX 0283-85-3039

▼分散会

「まちづくり事例研究・自由討論」
講義

「全国の先進事例に学ぶ
生涯学習まちづくり」
聖徳大学生涯学習研究所長

分散会

「まちづくりの現状と
課題について考える」



全国生涯学習市町村協議会では、会員相互の連携を深める中で、情報交換・政策研究などを行い、新しい時代に向けたよりよいまちづくりを推進するため、様々な事業を実施しています。

今回、生涯学習施策の一環として、まちづくりの課題、負の遺産となっている「空き施設」について、先進事例を学び、積極的な活用を図るべきと考え、「廃校利用」をテーマに全国の市町村をはじめ関係機関に呼びかけを行い、「全国生涯学習市町村協議会フォーラム」を開催しました。

聖徳大学生涯学習社会貢献センターにて開催
『全国生涯学習市町村協議会フォーラム』
平成22年12月14日(火) 10時30分～19時

▼基調提言

「地域の活性化と

廃校の効果的な活用について」

文部科学省文教施設企画部施設助成課課長補佐

杉浦健太郎氏
聖徳大学生涯学習研究所長

福留 強氏



文科省では、本年度から『未来につなごう「みんなの廃校」プロジェクト』をスタートし、廃校の活用方法、利用者を募集している施設情報の集約等をホームページで公表しています。その中で、特

長的な転用事例を紹介しながら、法制上、税制上での注意点や、成功のポイントを杉浦氏が解説しました。

廃校の転用事例として、公民館などの社会教育施設、体育館などの社会体育施設といった公共施設への転用が多い中、宿泊施設や美術館、創業支援施設など、

▼事例研究

民間のアイデアを活用して生まれ変わった事例もあり、「廃校と施設をどう活用して良いのか分からない」と悩む自治体関係者は真剣に耳を傾けていました。

「わがまちの廃校活用に関する現状と課題」

コーディネーター 聖徳大学教授 清水英男氏

「3校同時廃校に伴う施設の有効活用について」

栃木県矢板市生涯学習課長 石塚一美氏

「廃校を利用して」

NPO法人生涯学習サポート センターえこる・de・うふ理事長 榎原恒司氏

「自然体験施設『田舎ランド』」

栃木県那須塩原市生涯学習課社会教育主事 吉田一志氏

「田辺市における廃校活用の現状と課題について」

和歌山県田辺市長 真砂充敏氏

いずれの事例も地域の特色を生かし、適正な運営をしており、「今後とも継続していくための努力」や「新しいアイデアをいかに反映していくか」という視点に立ち、施設を有効活用していました。



平成22年度

全国生涯学習市町村協議会役員と 文部科学省生涯学習政策局幹部職員との懇談会を開催

会員市町村における生涯学習施策の課題、文部科学省に対する要望事項、今後の市町村協議会への文科省からのご助言等について意見交換を行いました。

日時 平成23年1月19日(水)
午後3時～6時
場所 文部科学省5階3会議室

出席市町村

北海道稚内市、大空町、本別町、岩手県軽米町、福島県昭和村、栃木県佐野市、栃木市、埼玉県八潮市、長野県茅野市、京都府亀岡市、愛媛県新居浜市、佐賀県



文科省の出席職員

坂東生涯学習政策局長、伊藤大臣官房審議官(生涯学習政策局担当)、作花生涯学習総括官、上月政策課長、弦本調査企画課長、藤野生涯学習推進課長、塩見社会教育課長、高口男女共同参画学習課長、齋藤参事官(学習情報政策担当)、佐藤政策課長補佐、大坂政策課地域政策第二係長 合計11名

懇談会要旨

- ・全国各地での生涯学習の取組みを一層推進するため、文部科学省生涯学習政策局と全国生涯学習市町村協議会による協働を強化する必要がある。
- ・定期的な情報交換のほか、生涯学習政策局から次に示す支援・協力ができるため、加盟市町村の希望により実施する。

具体的事例

- ・生涯学習政策局が主催するフォーラム等において加盟市町村の発表の場を設定
- ・加盟市町村との共催事業への後援(協議会の冠を付した事業等)
- ・生涯学習、社会教育に関する講師・アドバイザーの派遣(経費は文科省負担)
- ・加盟市町村の取組事例の紹介(メルマガ、月刊「生涯学習」)
- ・生涯学習政策局における実務研修生の受入れ
- ・教育全般に関する情報提供、相談対応や担当課の紹介
- ・加盟市町村への生涯学習政策局職員の現地訪問の実施
- ・その他、生涯学習政策局幹部職員から教育政策に関する国の動向、平成23年度生涯学習政策局予算(案)、社会教育アドバイザー制度、全国生涯学習ネットワークフォーラム岩手県大会等の説明がありました。

今後も文科省職員が
加盟市町村を訪問します



▲懇談会で板東局長と岡部会長

文部科学省生涯学習政策局では、加盟市町村で個別に課題となつている生涯学習に関する事例に対し、職員が市町村に出向いて、詳細な取材・分析を行うことを目的として、今後も現地訪問を実施いたします。ぜひご活用ください。

【3月までに実施した市町】

長野県茅野市、京都府亀岡市、埼玉県八潮市、北海道本別町、北海道大空町 合計5市町

■ 今後の生涯学習の展開

文部科学省 生涯学習政策局政策課長

上月正博

東日本大震災の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、対応に当たられている関係者の皆様の御尽力に心より敬意を表します。

今回の震災は、現代文明、社会経済システムの在り方や人生観・価値観などに大きな問いを投げかけるものであり、衝撃をもたらしました。一方、多くの学校や公民館などが避難所となっていますが、年齢や立場を超えて多くの人の力によって運営されています。改めて、一人ひとりの思いや力が結集した社会全体の絆こそがこの国難を乗り越える大きな力になるものと認識しています。

放課後子ども教室や学校支援地域本部等の事業を通じて、学校・家庭・地域等が連携し、社会全体で教育に取り組むことの必要性は高まっており、地域の実情に応じた様々な取り組みがなされています。また、文部科学省ではこれまでの取り組みをさらに発展させ、市民・NPO・企業などが積極的に公共的な活動を担う「新しい公共」による学校づくりを推進しています。今回の震災により、あらためて地域の絆やコミュニティの再構築が必要であると再認識したところであり、学校や公民館を拠点とした地域づくりも支援していきます。

被災地での復旧・復興はもとより、日本全国においても次代を担う子どもや若者が、希望を持って未来に向かって前進していけるような環境を整備していくことが重要な課題となっています。生涯学習政策はそれを支える基盤として、中長期的なビジョンを持ちながら取り組んでいきたいと考えています。

この度、戦後最大の国難となりました東日本大震災において、お亡くなりになられました方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されましたすべての方々にお見舞いを申し上げます。また、対応にあたられている関係者の皆様のご尽力に心より敬意を表します。

さて、平成21年度より全国生涯学習市町村協議会の会長に就任してから、2年間の任期を振り返って見ますと、新たな試みとして様々な取組みをさせていただきました。21年度は、北海道本別町の「北日本生涯学習まちづくりフォーラム」をはじめとし、全国の市町村にうかがい、

「2年間の会長職を振り返って」

全国生涯学習市町村協議会会長
佐野市長

岡部正英

先進的な生涯学習について学ばせていただきました。また、文部科学省生涯学習政策局の上月政策課長に佐野市までお出でいただき、今後の生涯学習の課題、市町村協議会のあり方等についてご助言をいただきました。このご助言を受け、22年度には、全国の未加入市町村にも呼びかけ、「全国生涯学習市町村協議会フォーラム」を聖徳大学において開催いたしました。さらに、「全国生涯学習市町村協議会役員と文部科学省生涯学習政策局幹部職員との懇談会」を開催し、様々な意見交換や交流を図ることができました。これらの事業を契機としまして、今後の

協議会活動の推進が図らるものと期待をしております。

社会、経済情勢を含めた時代の変化の中で、生涯学習のあり方や市町村協議会の取組みについては、いろいろな工夫をさせていただき、生涯学習施策の充実に向けて一定の成果が得られたものと考えております。しかしながら、今回の震災においては、生涯学習分野においても、各地で多くの関係者の方々が被災され、また、多数の関係施設が被害に遭いました。本協議会の会員市町村にも多くの被害が出ており、これら被災地域の市町村に対し、できる限りの方策としまして、23年度役員会、総会において「被災地の特例制度」を提案させていただきましたこととしております。また、総会の機会を利用していただき、会長としての最後の役割として、生涯学習と震災対策に関連した基調講演、さらには、災害を含めた生涯学習の課題全般について、文科省と会員市町村との意見交換の場を設定できるよう調整をさせていただいております。被災により、これまでのような生涯学習活動ができない市町村も多くあるものと思いますが、復興に向けての足がかりの一助になればと考えております。結びに、被災をされた地域の一刻も早い復興と、本協議会が益々発展されとともに本協議会を通じて会員市町村の生涯学習施策が益々充実されることをご祈念申し上げます。

生活に役立つ生涯学習とまちづくり

全国生涯学習市町村協議会 世話人

聖徳大学教授 福 留 強

未曾有の東日本大震災に駆けつけた大勢のボランティア。整然と対応する東北の被災者の姿などをみると、やはり日本人はすごいと思ってしまう。会員の自治体の中にも被災された自治体もあったようです。心からお見舞い申し上げます。

大震災後、「日本人として一致して復興する」という国民の目標が、明確になりました。そうした中で、あらためて、日本を活性化する決め手として「生涯学習が不可欠」という必要があるのではないのでしょうか。

そのためには、スタッフ、担当者は、まちづくりの推進に関わる指導者として、一人ひとりが力量を高めること、そして、何よりも自己研修が重要です。

全国生涯学習市町村協議会は、全国生涯学習まちづくり研究会に所属する首長を中心に、「生涯学習まちづくりネットワーク協議会」が生まれ、それに掛川市など生涯学習宣言都市が加わり、文部省の協力もあって、平成11年11月11日に発足したものです。以来、今日まで、「生涯学習まちづくりフォーラム」の開催、調査研究の実施など、全国の会員自治体を中心に数多く実施してきました。

災のまちづくり」を提唱しています。まちづくりの基礎は、「安全で安心」がキーワードであり、住民の命を守ることです。東日本大震災では、からずもそこを痛感しました。

市町村は、自然的資源、社会的資源、人的資源などの資源を十分に掘り起こし、活用していないのではないかと思うことがあります。まだまだ、魅力あるまちは、十分つくれますし、さらに他の自治体との交流、共働化などにより、さらに可能性はひろがります。

全国生涯学習市町村協議会は、平成の合併や大震災などにより、その加入団体が減少しています。今こそ、本会の意義が発揮されるべきです。未加入の自治体にも呼びかけ、より拡大したいものです。これから新しい日本づくりが加速すると思うのです。

「まちづくり」において、自治体が直面する課題は、とても多く多いでしょう。その活性化に関する課題も山積していると思います。「儲ける生涯学習」「創年のまち」「女性が主役」「子どもが主役のまちづくり」「空き活用」廃校活用とまちづくり」などの、キーワードのなかにも、注目してみてください。本当に生活に役立つ生涯学習を、今一度、推進し、まちづくりに生かしたいものです。市町村協議会をさらに充実させるために。

平成22年度

全国生涯学習市町村協議会

研修会等補助団体活動実績の紹介



岩手県
軽米町

軽米町生涯学習

「みんなでまちづくり研修」



軽米町では、子どもから大人までが継続してそれぞれの立場で、自身が健康で生涯学習活動を展開する体力と能力を身につける、または維持することを基本としたうえで、リーダーの資質を高め、もって町民主体の生涯学習によるまちづくりを目指して、次のような事業を行いました。

○自治公民館活動活性化研修会

期日 平成23年2月20日（日）

対象 生涯学習関係者・自治公民館関係者等

会場 軽米町河北公民館

内容

①講演 「地域づくり活動と次世代育成」

講師 NPO法人岩手子ども環境研究所

理事長 吉成信夫氏

②事例研究

「河北公民館の地域活動について」

③交流会&公民館フェスティバル

○読書推進公演会

期日 平成23年3月4日（金）

対象 幼児・保護者等

会場 軽米町立軽米幼稚園

内容 読み聞かせの公演

①小学校区地域づくり実践発表

②講演 「早寝早起き朝ごはん」

子どもの生活習慣」

講師 (医) 緑三堂白井循環器呼吸器内科

副院長 白井由紀子氏

○読書推進講演会

期 日 平成23年3月4日(金)
対 象 児童・生徒・学校関係者・保育関係者・図書館ボランティア・町民等
会 場 軽米町中央公民館
内 容

- ① 読み聞かせの公演
② 講演 「本の世界を楽しもう
～音楽にのせて～」

○読書ボランティア研修会

期 日 平成23年3月4日(金)
対 象 読書ボランティア
会 場 軽米町立図書館
内 容

- ① 講演 「読書ボランティアという活動」
② 情報交換会

栃木県 さくら市

「かきねを越える まちづくり推進事業」



さくら市では、市民が生涯学習に触れる機会として行われている生涯学習振興大会とタイアップし、「食と匠」「若者参画」をテーマに講演会や市内で活躍している農業従事者等による発表会を開催しました。

期 日 平成23年2月13日(日)
会 場 さくら市喜連川公民館
内 容 SAKURAキッチンコロシウム
○第一部

- いまだき：WAKAMON
① 中高生自主製作映画の上演
② 市内で農業に従事している若者グループによる活動発表
③ 市内在住小学生のミニライブ

○第二部

トークショー

「キッチンからはじまる家族の絆」

講師 料理研究家 コウケンテツ氏



栃木県 大田原市

「生涯学習フォーラム」



大田原市では、生涯学習を広く一般に啓発し、地域住民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めるとともに学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とし、市民の企画・運営により、市の中心を流れる那珂川を題材とし、市町村合併5年を経た現在の地域のまちの特徴の再発見を行うことをテーマに「生涯学習フォーラム」を開催しました。

期 日 平成22年11月13日(土)

会 場 大田原市総合文化会館

内 容 ふるさと那珂川の恵みを探る

○第一部

基調講演「那珂川流域の里山林」

～その恵みの再発見～

講師 宇都宮大学教授 大久保達弘氏



基調講演の講師 大久保教授

○第二部

吹奏楽演奏

大田原市立湯津上中学校吹奏楽部

○第三部

パネルディスカッション

「那珂川に育まれた大田原再発見」

コーディネーター

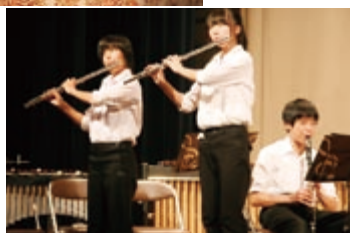
那須文化研究会会長 木村康夫氏

パネリスト

栃木県水産試験場 澤田守伸氏

那須与一伝承館館長 萩原恵一氏

黒羽観光漁業組合常務理事 増渕誠一氏



吹奏楽演奏

福岡県 宇美町

ふみの里 まなびの森 フェスタ

宇美町では、「ふみの里まなびの森」を形成するそれぞれの施設が連携し、講演会をはじめ少年少女の主張大会や朗読大会、子どもたちの体験ワークショップを開催するなど、子どもから大人までが楽しめるフェスタを実施しました。

期 日 平成22年11月21日(日)

会 場 宇美町まなびの森コアゾーンほか

内 容

○講演会 「科挙というお受験」

講師 作家 浅田次郎氏

○町内小中学生生徒による主張大会及び朗読大会

○体験型ワークショップ

もの作り・食・防災ウォークラリーなど

○ブックリサイクル・展示 その他



鹿児島県 薩摩川内市

生涯学習 フェスティバル

薩摩川内市では、「学び、輝く あなたのライフステージ」をテーマに、生涯学習フェスティバルを開催し、学習成果の舞台発表や、各種講座・学級の展示、記念講演などを行いました。

期 日 平成23年2月27日(日)

会 場 薩摩川内市総合運動公園

(サンアリーナせんだい)

内 容

○記念講演(サブアリーナ)

「そだったのか生涯学習」

ジャーナリスト 池上 彰氏

教育ジャーナリスト 増田ユリア氏

○学習成果の発表(サブアリーナ)

ダンスや和太鼓、寸劇等の発表

○展示コーナー(研修会議室)

コミュニティ協議会等による展示

○体験コーナー(エントランスホール)

中国武健康体操

木目込人形制作等

○食育コーナー

(中庭)

○その他



鹿児島県 鹿児島市

生涯学習 フェスティバル

鹿児島市では、市民の生涯学習に対する関心を高め、心豊かで学ぶ喜びに満ちた生きがいのある地域づくり、人づくりの気運を醸成し、市の生涯学習推進のモットーである「市民一人 一芸・一学習・一スポーツ」のさらなる活性化を図ることを目的として、生涯学習フェスティバルを開催。学習成果発表や作品展示、講演会、フォーラム等を実施しました。

期 日 平成23年2月4日(金)～5日(土)

会 場 鹿児島市中央公民館サニールかこしま

内 容

○講演会 「異文化としての日本を考える」

講師 作家 椎名 誠氏

○トークコンサート

シンガーソングライター やなせなな氏

○公民館音楽祭の開催、学習成果の発表、シンポジウムの開催など



平成23年度総会を 開催いたします



6月24日(金)、協議会として初めて文部科学省を会場として、平成23年度の役員会・総会を開催いたします。

総会では、事業報告及び事業計画、歳入歳出決算及び予算、任期満了に伴う役員の選任についての議案のほか、今回の東日本大震災に伴う関連議案について承認いただく予定となっております。

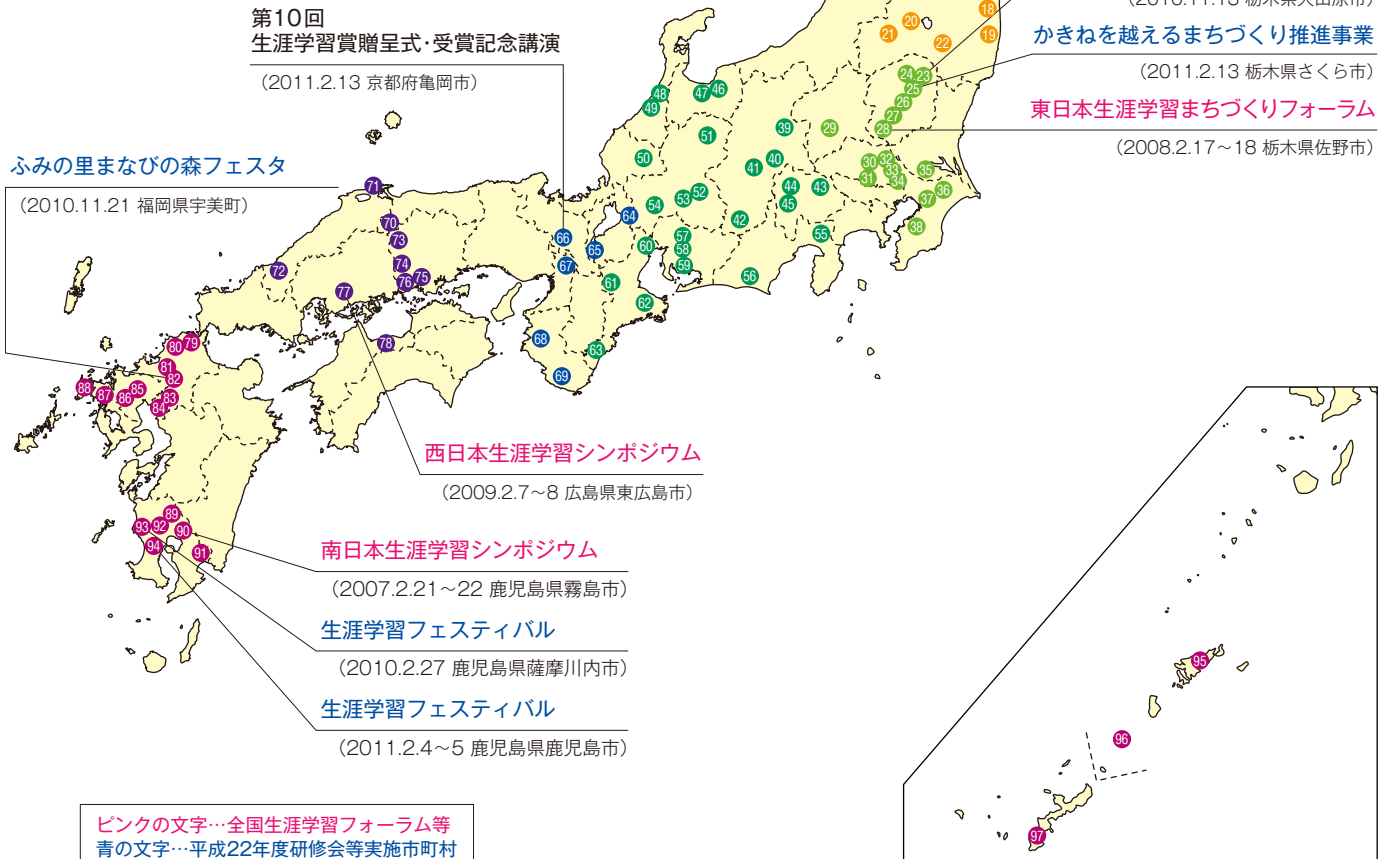
総会終了後には、文部科学省生涯学習政策局長の講演と、東京工業大学事務局長の山田道夫氏による「震災からの復旧・復興における社会教育の役割」をテーマにした基調講演を開催いたします。

また、基調講演に引き続き、協議会初の試みといたしまして、「協議会会員と文部科学省職員との意見交換会」の開催を予定しております。全国の会員市町村の皆様の参加をお待ちしております。

平成23年度

会員市町村

北海道	関東	中部	近畿	九州・沖縄
1 稚内市 2 士別市 3 大空町 4 上士幌町 5 本別町 6 千歳市 7 浦河町	【栃木県】 23 大田原市 24 矢板市 25 さくら市 26 宇都宮市 27 栃木市 28 佐野市 【群馬県】 29 高崎市 【埼玉県】 30 川島町 31 所沢市 32 春日部市 33 松伏町 34 八潮市 【茨城県】 35 阿見町 【千葉県】 36 成田市 37 四街道市 38 市原市	【長野県】 39 東御市 40 茅野市 41 箕輪町 42 泰阜村 【山梨県】 43 山梨市 44 韮崎市 45 南アルプス市 【富山県】 46 上市町 47 富山市 【石川県】 48 内灘町 49 金沢市 50 大野市 【岐阜県】 51 高山市 52 白川町 53 七宗町 54 岐阜市 【静岡県】 55 御殿場市 56 掛川市 【愛知県】 57 知立市 58 安城市 59 吉良町 【三重県】 60 桑名市 61 名張市 62 伊勢市 63 熊野市	【滋賀県】 64 米原市 65 大津市 【京都府】 66 亀岡市 【大阪府】 67 枚方市 【和歌山県】 68 有田川町 69 すさみ町 【鳥取県】 70 日南町 【島根県】 71 松江市 72 益田市 【岡山県】 73 新見市 74 井原市 75 浅口市 76 里庄町 【広島県】 77 東広島市 【愛媛県】 78 新居浜市	【福岡県】 79 芦屋町 80 岡垣町 81 須恵町 82 宇美町 83 筑後市 84 柳川市 【佐賀県】 85 多久市 86 武雄市 【長崎県】 87 佐世保市 88 平戸市 【鹿児島県】 89 湧水町 90 霧島市 91 志布志市 92 始良町 93 薩摩川内市 94 鹿児島市 95 奄美市 96 知名町 【沖縄県】 97 那覇市
東北 【青森県】 8 階上町 【岩手県】 9 軽米町 10 葛巻町 11 金ヶ崎町 12 大船渡市 【秋田県】 13 秋田市 【宮城県】 14 大崎市 15 七ヶ浜町 【山形県】 16 天童市 17 朝日町 【福島県】 18 南相馬市 19 富岡町 20 三島町 21 昭和村 22 須賀川市			中国・四国 【鳥取県】 70 日南町 【島根県】 71 松江市 72 益田市 【岡山県】 73 新見市 74 井原市 75 浅口市 76 里庄町 【広島県】 77 東広島市 【愛媛県】 78 新居浜市	



募集

平成23年度

補助事業・研修会実施市町村の募集について

協議会では、毎年会員市町村において開催される生涯学習の推進に係る研修会等を援助する目的で、「全国生涯学習市町村協議会研修会等補助金交付要綱」に基づき、運営補助金交付を受ける市町村を募集しています。

平成22年度につきましても、多くの会員市町村にご応募いただき、補助金制度をご利用いただきました。実施各市町のそれぞれの取り組み状況につきましては、その概要を掲載させていただきました。

協議会といたしましては、この補助金制度を会員市町村にさらに有効にご活用していただきたいと考え、平成23年度におきましても、同程度の募集をする予定です。6月下旬の総会後に募集を開始し、その後決定させていただく流れになります。

つきましては、補助金交付を希望される会員市町村におきましては、協議会ホームページより募集要項をダウンロードしていただき、事務局まで申請してい

ただくようお願いいたします。

なお、申し込み多数の場合などにつきましては、十分に検討させていただきます。考・決定をさせていただくことになりま

すので、あらかじめご承知おきください。ご不明な点などございましたら、事務局までお問い合わせください。



紹介

全国生涯学習市町村協議会のホームページ



アドレス

<http://www.gakushu.jp>

全国生涯学習市町村協議会では、ホームページを作成しています。

現在、このホームページには、「加盟市町村名簿」「会則」「補助金要綱」のほか、「各市町村の状況」「お知らせ」等の記事を掲載しております。

当協議会のネットワークを通して、全国各地での取り組み状況や日頃のご担当の皆さんが苦慮されていることも含め、様々な情報を集め、会員市町村の皆様がよりよいまちづくりに貢献できるよう、ご活用いただけたら幸いです。

また、「ぜひ、この情報を掲載して欲しい!」とのご要望がありましたら、事務局までご連絡ください。このPRが、明日への発信・発展につながっていくかも知れません。

編集室から

人事異動に伴い4月より事務局を担当することになりました。引継ぎ時、総会開催までの間はドタバタが続くと聞かされ、プレッシャーを背負いながら現在、会員の皆様にご迷惑のかからぬよう、懸命に準備・調整を進めているところです。反面、全国の事務局という仕事柄、初任者でありながら、各市町村の先進的な事例にいち早く接するとともに、担当者の皆様と直接お話しする機会もあり、毎日、非常に参考になるとともに、他の初任者よりも勉強（スキルアップ）する機会に恵まれたことに感謝しています。

さて、生涯学習を取り巻く社会情勢の変化に対応すべく、本協議会の事業についても、創意工夫が必要とされていますが、事務局といたしまして、今年度も新たに「安・近・短」で一定の成果が上げられるよういくつか事業を企画させていただきました。また、今回の東日本大震災に関連して、被災した会員市町村の復興の一助となればと思ひ、規約改正による会費の特例制度についても、総会時にご提案させていただく予定です。

最後に、震災からの一刻も早い復興と会員の皆様の生涯学習施策の益々の充実、今後とも協議会への一層のご協力・ご支援をご祈念いたします。

(S)